

連載
106回

くにごの県庁見聞録

県議会開会！

(司会) 県議会が始まりましたね。

(くにご) はい、4期目の県

議選を控えた県議会ですが、気合を入れて議会に臨んでいます。

(司会) 議員提案条例も控

えて日程調整が大変でしょう？

(くにご) ええ、私はその議会日程を調整する議運委員

なんです。当初決定された日程に開催日を追加していくんですよ。

(司会) 大変ですね。健康に注意してがんばってくださいね。

(くにご) はい！

(司会) ところで、くにごさんは、ご自分を地域密着型の議員と表現されていますよね。それは、くにごさんの

活動を見れば理解できるんですけど、活動テーマでもある「かなえたい夢がある」の意味は？

(くにご) ええ？色んな夢があるんです。以前にお話し

しましたが、京浜臨海部に世界ナンバー1の病院を誘致する事もその一つなんですけどね。当面の目標は、市・県の枠を越えた特別委員

会の設置です。

(司会) えっ、どういう意味ですか？

(くにご) 例えば、子ども手当について、県と県内市町村が会議を数回開催し

て、対応を協議しましたよね。(司会) エエ、報道されまし

(くにご) 行政レベルでは、

首長や担当者などが、連携を取っているんですよ。ところが議会同士の連携は取

れていないんですよ。協議

の場なんてないですよ。

(司会) 確かに、あまり聞

きませんね。

(くにご) 羽田空港の国際化については、大田区も交えて議員も参加した協議をや

っていますよ。でも身近な話

題、子ども手当とか、子育て支援策、高齢化対策

教育などについて、議会レ

ベルの意見交換の場が必要だと思っんです。自治体の枠を超えた特別委員会を設

置して、共通した課題を審議すれば、それぞれ異なった立場から有益な議論ができるのではないかしら。そ

れが、地域に有効な政策展開に結びつくはず。地方がタッグを組んで、「地方から国を正す」ための大きな方策ですよ。

(司会) 実現するのは大変なのでは？

(くにご) 夢見てなければ絶対に実現しません。まず志です。がんばりますよ。私は！



神奈川県議会議員

小川くにご

川崎市高津区久本2-7-34

☎044(865)1313

☎044(888)3600

http://www.kinet.or.jp/seseragi/

くにごのプロフィール

- 久本在住、夫・小川栄一
- 都立小石川高校卒
- 早稲田大学第一文学部
英米文学科卒
- 元横浜YMCA予備校英語科講師
- 川崎北部菊花会会長
- 高津親睦ソフトボールリーグ顧問
- 高津区ゲートボール協会副会長
- NPO法人理事(在宅介護支援施設)